

平成23年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 456

政策体系	23	事業分類	ソフト事業	所管部局	農林商工部 農林整備課
会計	一般会計	科目	6. 農林水 - 2. 林業費 - 2. 林業振 現年		
事業名	野生鳥獣被害総合対策事業				
細事業名	鳥獣害防止総合対策事業				
評価表作成者				農林商工部 農林整備課	谷 裕之

1. 事業の概要

「鳥獣被害防止特別措置法」による国の鳥獣害防止総合対策事業に基づき、市が事業主体となり防除施設の設置を実施する。

2. 事業の目的と必要性

① 施策で目指す目標との関連付け

有害鳥獣による外部からの侵入を防ぐため、金網フェンス等の防除施設を設置するものである

② 事業を実施する必要性

被害の蔓延を防止するための自己防衛策として、必要不可欠である

3. 事業費の推移

	単位	平19決算	平20決算	平21決算	平22決算	平23予算	平24計画	平25計画
決算額または計画額	千円			38,684	30,072	59,400	59,400	0
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等	千円			0	0	0	0	0
財源内訳								
使用料・手数料等	千円			11,619	15,254	17,820	17,820	0
国・府支出金	千円			21,269	7,017	32,670	32,670	0
地方債	千円			0	0	0	0	0
一般財源	千円			5,796	7,801	8,910	8,910	0
職員等の従事人員	人/年	—			0.35			
人件費	千円	—			2,350			
事業費総額	千円	—			32,422			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。
 ※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

4. 主な事業費の内訳

金網フェンス・電気柵の防除施設設置
 同上資材購入費 30,072,105円（原材料費）

5. 事業結果の概要

金網フェンス・電気柵の防除施設設置
 22箇所 L=71,767.5m

6. 活動の詳細

(1) 交付金の交付		
有害鳥獣による外部からの侵入を防ぐため、金網フェンス等の防除施設を設置する。(事業主体：市) 13箇所 33,288m	平成22年6月～ 平成23年3月	被害の蔓延を防止するための防衛策として有効な手段である。

7. 所属長評価 [平成20年度から改善した点、今後の展開など]

自己防衛対策としての防除施設の設定は大変有効な手段であり、継続して事業実施する必要がある。

【参考】過年度の評価

■平成22年度の所属長評価

自己防衛対策としての防除施設の設定は大変有効な手段であり、今後は、地域全体を対象とした据付を行い併せて、緩衝地帯の設置も検討をしていきたい。

■平成21年度の所属長評価